

○八月 福井縣河和田支部準備會
同縣今立郡河和川村、山村藤方

○九月 下伊那支部準備會
長野縣伊那郡市川村下市田

○十月 小石川準備會 東京市小石川區
その他卷末表参照

三、他團體との共同戦線

夫反闘争、農村窮破、生活防衛その他 反帝日常闘争に於て
支持勞農團體と常に協力す然も社民と上からの 共同はしな
つたが上から黨員大衆間に於ける闘争は二三の地方に展開さ
れた。そしてそれが常に我黨の指導の下に行はれ、大衆は相次
いで我黨の傘下に集る結果となつた。

四、組織部通達及情報

A、通達、召集状

- 1、地方合同並びに支部改組に就て(七月十八日)
- 2、支部承認狀發行に就て(七月二十日)
- 3、各支部並びに聯合會確立に就て(八月二十一日)
- 4、選挙闘争と組織闘争に就て(八月三十一日)
- 5、全国オクルグの選任に就て(九月五日)
- 6、選挙戦終ると組織擴大闘争に就て(十月一日)

7、府縣會選挙戦と組織方面、批判に關する調査資料に於て
(十月十七日)

8、黨勢調査に就て(十月二十五日)

9、組織部員會議組織部員會議召集(四回)

B、情報

- 1、地方合同改組に就て(七月二十二日)
- 2、同 (八月十五日)

3、組織部員氏名報告(八月十七日)

4、第一回組織部員會議報告(八月二十一日)

5、第二回組織部員會議報告(十月廿一日)

6、各府縣組織部員會議(十一月廿六日)

五、組織部員及部員會議

A、組織部員

去る八月十七日の常任會議に於て 左記の同志が本部組織部
員に任命されました。

- 部長 淺沼稻次郎 深川區大工町アバウト十二號 七九八
- 主任 岩崎止三郎 府下澁谷町景丘三アバウト
- 部員 難波 虎一 東京市本所區石島町二八一
- 白鳥 廣近 東京市本所區大平町二〇三
- 石橋 憲一 東京市外戸越七〇三

大門 義雄 東京府下谷町稻付七五六

渡邊 惣藏 東京市外高田町雜司ヶ谷一。二二七

田原 春次 東京市淺草區吉野町野便局隣り

川 瀨 宏 東京市外千駄ヶ谷町醫田一四四

坪田 利雄 東京市神田區鎌倉河岸二二號地

今野大八郎 横濱市中區堀之内町一一四

山花 秀雄 東京市本所區吾妻橋三ノ五ノ三號

野宮 英一 東京市本所區鷹橋四ノ一ノ一號

長井恭三郎 東京府下瀨之川町西ヶ原五五番地 長井正

天満芳太郎 東京市深川區元加賀町一八

高原 淺一 東京市中御徒町二ノ五六

石 藤 正 東京市芝區琴平町一九、石原方

徳永 岩夫 東京市芝區田村町六七 荒木ビル

浦潮 力松 東京市外大井町喜下四一一九

渡部 弘 東京市芝區琴平町一九 石原方

出席者 淺沼、岩崎、渡部、浦潮、角田、徳永、石藤、
田原、高橋、坪田(以上本部)、三宅、新瀨、江原(群馬)、
田中(秋田)、細田、古矢(茨城)、今野(神奈川)

議長——淺沼稻次郎 書記——徳永岩雄
報告
群馬縣——江原仲吉
七月十五日、合同大會、組織部長、吉田綱十郎、勞農組
合の擴大強化につとむ。

秋田縣——田中健吉。

郡單位支部、彈壓激し。闘争を通じて組織の擴大に努
む。

茨城縣——細田鋼吉。

八月六日、合同大會、組合執行部と黨執行部事務所を
分離して、黨独自の活動を開始す。

東京府——淺沼稻次郎。

十月十八日 合同大會の豫定、支部合同につとめつゝあ